

水稲移植栽培における ナガエツルノゲイトウに有効な除草剤体系

- ・水稲移植栽培を行う水田にナガエツルノゲイトウがまん延している場合、「水稲の移植栽培期間中」と「収穫後」の2時期に防除します。
- ・水稲の移植栽培期間中は、有効な除草剤2～3剤を処理する「体系処理」、収穫後は「非選択性除草剤の処理と耕起の組合せ」で防除します。
- ・これらの管理を続けることで、水稲栽培期間中の手取り除草などの追加防除がなくても、水田内のナガエツルノゲイトウを大幅に減少させ低密度に抑制することが可能です。

月 旬	タイミング	管理	推奨体系案-1	推奨体系案-2
4 中 下	入水	代かき		
5 上 中 下	移植	1 剤目 初期剤・ 初中期一発剤	● 1 剤目 (初期剤) ピラクロニル粒剤 (1 キロ 粒剤)	● 1 剤目 (一発処理剤) イマズスルフロン・オキサ ジクロメホン・ピラクロニ ル・プロモブチド粒剤 (1 キロ粒剤)
6 上 中 下	中干し	2 剤目 (発生量によっては省略可能な場合がある) 中後期剤	● 2 剤目 (中後期剤) フロルピラウキシフェンベ ンジル・ペノキススラム・ ベンゾピシクロン粒剤 (1 キロ粒剤)	● 2 剤目 (中後期剤) フロルピラウキシフェンベ ンジル乳剤
7 上 中 下		2～3 剤目 中後期剤・ 後期剤		
8				
9 上 中 下	収穫			
10	収穫後 収穫約 1 か月 後以降	非選択制除草剤	● 非選択制除草剤 グリホサートカリウム塩液剤	● 非選択制除草剤 グリホサートカリウム塩液剤
11～	除草剤散布 約 1 か月後 以降	秋耕起		

「農研機構：水田におけるナガエツルノゲイトウ防除マニュアル」を参考に作図

下記の成分を含む薬剤の処理体系が有効です

主な区分	成分名	作物名
初中期剤	ピラクロニルを含む薬剤	水稲
中後期剤	フロルピラウキシフェンベンジルを含む薬剤	水稲
水田刈跡	グリホサートを含む薬剤	水田作物
水田畦畔	フロルピラウキシフェンベンジル、グリホサート、DBNを含む薬剤	水稲、 水田作物



水田に侵入したナガエツルノゲイトウ

※実際の使用にあたっては、適用場所や時期等ラベル記載事項を遵守してください。

河川敷や水路など水系に流出する恐れがある場所では使用できません。

【防除方法に関するお問合せ先】 下記または最寄りの農業改良普及センターにご連絡ください。

兵庫県農林水産部農業改良課 電話：078-341-7711 (内線74314)

兵庫県立農林水産技術総合センター農業技術センター農産園芸部(主作部門)

電話：0790-47-2410